

# 八幡高原米 風のあしあと

北広島町芸北八幡は、  
貴重な湿原の町。

広島県の北部、太田川の源流の流れる美しい町、北広島町芸北。その中でもひととき自然を守り続けている八幡。標高約七〇〇m、平均気温は一〇℃前後と低く、広島県で最も雪の多い地域で二mあまりの積雪があります。

八幡高原に点在する湿原は一九五〇年代の総合学術調査で、ヌマガヤイマアサミ群集が八幡湿原で発見命名され、世界的にも有名な大変価値の高い湿原です。湿原には貴重な生物がたくさん生存しており、全人類にとっても、かけがえのない遺産です。

八幡が守る、  
奇跡の大自然

## 八幡湿原（わたしづげん）

八幡高原に点在する湿原は、西日本でも有数の規模を誇る泥炭湿原です。多くの希少種が含まれており、湿原の植物たちは様々な形で水に適して暮らしています。

## 臥竜山（がりゅうざん）

アサミをはじめ、トチノキ、ミズナラといった落葉広葉樹の原生林が広がる標高約一、二〇〇mの山。高山性の植物の宝庫で、頂上付近のアサミ原生林は貴重な存在です。山頂付近には天然水（雷雲水）が湧き出しています。水質は硬度5程度の軟水、お茶やコーヒー、料理に適し、遠方からもたくさんの方が水汲みに訪れます。

## カキツバタ

植物学者の牧野富太郎博士が昭和初期八幡に来られた折に感懐されたというカキツバタの群生風景を再現するべく休耕田1.7haに二万株二〇万本を植え付けました。五月下旬から六月にかけて見頃を迎え、一面紫色の絨毯で覆われます。

## ツキノワグマ

日本ではその個体数は激減していると言われていた首もとに白い三日月のような模様のあるスタイリッシュなクマ。とんぐりなどを食べて森の中で暮らしています。鈴や笛などの音が出るものを身に着けるなどをして遠くクマにこちらの存在をわからせるようにします。

## ヤマメ

ハムスターのような体にリスのような尻尾の夜行性の哺乳類。国の天然記念物に指定されています。林業に携わる人々は、ヤマメを山の守り神として大切にしていたそうです。森林伐採による生息数の減少が懸念されています。

## アカシヨウビン

夏にキヨロロ：と、魅惑的にさえずる、ヒヨドリと同じくくらの大ききの渡り鳥。大きな赤いくちばしは柔らかい。燃えるような赤いくちばしと体全体が赤色を持つことから、火の鳥の異名を持っています。

## ヒロシマサナエ

ヒロシマサナエは小型のトンボで、広島大学名誉教授の澤野十蔵博士により八幡湿原で発見され、その後ミヤマトンボとともに広島県を代表するトンボとして広く知られてきました。

## ヒメシジミ

ブルーのシジミチョウで年一化性、成虫は六月八月にかけて見られます。開発により多くの地域で絶滅し、現在は環境省指定準絶滅危惧種となっています。

## アカモノ

五ミリほどの小さなベル型かわい花。名の由来は、赤い果実を付けるので「赤桃」の転訛したものとされています。

## リュウキンカ

茎が直立し、黄金色の花をつけることから立金花（リュウキンカ）と呼ばれます。通常、高山の湿地に生え、雪解け水が流れる湿地に大きな群落をつくります。草花の芽吹きが始まる頃、一緒に黄金色の大きな花が咲き、美しく湿原を彩ります。

## アケボノソウ

秋に咲く、白いクリーム色の花です。花びらに個性的な模様がたくさんあるのが特徴。白い花びらを明け方の空に、斑点を夜明けの星に見立てて名づけられたといわれています。

この素晴らしい八幡に、ぜひ遊びにいらしてください。

広島県山県郡  
北広島町芸北八幡



全国発送可能

ホームページからもご注文いただけます。  
<http://www.khiro.jp/kazenoashiato/>

Please pay a  
visit to YAWATA.

KAZE NO ASHIATO — Footprints of the Wind in Geihoku Plateau —